

2017年2月1日

第14号

全労連



全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

とめよう！原発再稼働 かえよう！福島切り捨て政治

新聞意見広告（2/11 付け）への賛同を、再度呼びかけます

やっと、1月30日、福島第一原発2号機の原子炉压力容器にカメラが入りました。事故の調査・分析は本当にこれからという状況です。新潟県の米山知事が言うように、「福島原発事故の検証が進められない限り、原発再稼働は考えられない」というのが、真っ当な考え方ではないでしょうか。

ところが、安倍政権は、原発再稼働と原発輸出に前のめりです。そして、福島原発事故はなかったかのように、福島切り捨てを進めようとしています。

この安倍政治の暴走をストップさせる運動が、いま進めている「ふくしまの復興と原発ゼロをめざす大運動」です。運動の一つが「福島新署名」、二つ目が「意見広告運動」、三つ目が「原発立地県キャラバン」です。意見広告は、2月11日付の新聞（全国紙と福島2紙）に掲載されますが、賛同金は、11日を過ぎても受け付けます。もう一回り、賛同を呼びかけましょう。よろしくお願ひします。

とめよう!
原発再稼働
かえよう!
福島切り捨て政治

nukes
かえよう! 原発再稼働
かえよう! 福島切り捨て政治

意見広告へあなたの賛同をよびかけます

東京電力福島第一原発事故の収束の見通しは立っていません。8万人をかえする福島県民がいまだに避難生活を送っています。原発再稼働の努力もすすまれています。しかし、安倍政権は原発事故などなかったかのように、原発再稼働をすすめています。住民の不安が解消されないままでの避難指示解除、住宅の無償提供や賠償の打ち切りなどは許せません。

【掲載紙】 全国紙2紙、福島2紙、全国環境広聴
【掲載日】 意見広告掲載日は「東京2紙」同時掲載です。掲載数し、個人名は掲載しません。「賛同団体名」は2017年1月31日までに登録された団体名を掲載します。
【費用】 団体1口 5,000円
個人1口 1,000円(いずれも両口でも可)
下記印刷必須事項をお返込みいただくか、または東京電力「東京をなくす全国連絡会」の印刷代をお返込みください。「中央労働本部本店営業部」直通3898464 口座名「原発をなくす全国連絡会」
【お申し込み】 2016年10月～2017年1月31日
【おひき付け】 「原発をなくす全国連絡会」
「ふくしま復興共同センター」

02 東京 払込取扱票 高専払込済全額加入を負責
001008747268
原発をなくす全国連絡会
意見広告賛同
□ 団体1口 5,000円× □ 団体名掲載希望しない
□ 個人1口 1,000円× □
ひとこと
【 】

001008747268
原発をなくす全国連絡会

2月11日に全国紙と、福島2紙に掲載予定で意見広告運動に取り組んでいます。この意見広告は、まるで福島原発事故がなかったかのように、原発再稼働と賠償など福島切り捨てを一体のものとして進めようとしている安倍政権に対して、原発再稼働と福島切り捨てを許さない世論を示すものとして、3.11の1カ月前に取り組みます。

安倍政権は、「40年廃炉」の基準を骨抜きにするとともに、次々に新規基準に適合のお墨付きを与え、再稼働を進めようとしています。また、廃炉が決まった原発の廃炉費用を電気料金に上乗せする方針を固めています。「原発は安い」というウソは明らかです。

意見広告は、これらの実態を国民のなかに広く訴えていくとともに、さらなる世論喚起を目指します。

意見広告の取り組みを全ての県・地域に広げていきましょう。

ダウンロード URL :

http://www.no-genpatu.jp/04renraku/2016/data/161101_01.pdf

6年目の3・11 各地で大きく取り組もう

全労連は、3月4日～12日を「震災復興・ノーニュークス週間」として運動の強化を呼びかけています。毎月のイレブン行動、金曜日行動を確実に成功させながら、かつてない規模で、集会・パレードを成功させましょう。

なお、東京のイレブン行動については、

- ①2月のイレブン行動 2月10日(金) 12:00～13:00 新宿駅西口
 - ②3月のイレブン行動 3月10日(金) 11:30～13:00 新宿駅西口 (6年目、多くの参加で!)
- で、予定しています。

また、「福島原発事故から6年 原発ゼロの未来へ福島とともに 原発ゼロ3・4大集会」が、3月4日、日比谷野外音楽堂で開かれます。主催は、原発なくす全国連絡会です。大きく成功させましょう。

福島原発事故から6年 原発ゼロの未来へ福島とともに 原発ゼロ3・4大集会

- ・日時 3月4日(土) 13:15～14:30 集会
14:30～16:30 銀座へデモ
- ・場所 日比谷野外音楽堂
- ・主な集会内容(予定)
 - 国会議員あいさつ 野党4党
 - メインスピーチ 秋山豊寛さん
 - 特別発言 ふくしま復興共同センター

全教～今年も「ふくしまの子どもにのびのびタイムを」



福島支援については、各単産でさまざまにとりくみが行われています。全教(全日本教職員組合)では、夏と冬に「ふくしまの子どもにのびのびタイムを」という行事をおこなっています。福島から親子を招いて、屋外でのびのびと遊んでもらおうと企画しているものです。

この行事は、原発事故以来、福島の子どもの「放射線を気にして深呼吸すらできない」「屋外で遊べず、肥満が心配だ」などの状況を何とかできないかと、教職員の特技を生かして取り組み始めたものです。大はしゃぎで笑い転げる子どもたち、はだしになり、土を触ったり、水遊びを楽しむ子どもたち。原発事故で奪われた子ども

時代を取り戻すかのように、走り回る子どもたち。その姿に「原発ゼロ」をあらためて誓い合う行事です。

この冬に取り組みされた「ふくしまの子どもにのびのびタイムを」の様子が送られてきましたので掲載します。

長野高～福島の子どもたちにのびのびタイムを in 戸狩温泉～

長野高(長野県高等学校教職員組合)では、12月26日～28日に戸狩温泉スキー場で、「福島の子どもたちにのびのびタイムを」を開催しました。今回で5回目となるとりくみです。4家族12名の参加がありました。当日はあいにくの雨でしたが、子どもたちからは、「楽しかった。来てよかった」と感想がありました。



山形・米沢 ～「いも煮会」開催～

山形・米沢市では、10月16日(日)に東日本大震災の避難者交流「いも煮会」を開催しました。天気もとてもよく、50名が集まり、米沢牛のたくさん入った「いも煮」をお腹いっぱい食べ、子どもたちは大満足。今年は、バーベキューもおこないました。「おいしい」と笑顔が絶えない1日を過ごすことができました。子どもたちは楽しく遊び、大人たちはゆったりとした時間を過ごすことができました。

